

2017年9月期 決算説明会

シミックホールディングス株式会社
2017年11月14日



2017年9月期 決算概要

(2016年10月1日～2017年9月30日)

取締役専務執行役員CFO

望月 渉



事業セグメントとグループ各社

青字表記は海外。※印は関連会社。

セグメント	商品・サービス	シミックグループ各社（2017年9月末時点）
CRO事業	製薬企業の医薬品開発支援、分析化学サービス及び医療、製薬業界向けBPO・人材サービスに係る業務	シミックホールディングス(株) シミック(株) シミックPMS(株) シミック・シフトゼロ(株) CMIC Korea Co., Ltd. CMIC ASIA-PACIFIC, PTE. LTD. CMIC ASIA PACIFIC (MALAYSIA) SDN. BHD. CMIC Asia-Pacific (Hong Kong) Limited CMIC (Beijing) Pharmaceutical Services Co., Ltd. CMIC (Beijing) Co., Ltd. シミックファーマサイエンス(株) CMIC, INC. CMIC (Suzhou) Pharmaceutical Technology Co., Ltd. シミックキャリア(株)
CDMO事業	製薬企業の医療用医薬品及び一般用医薬品などの製剤化検討から治験薬製造、商用生産まで医薬品製剤開発・製造支援に係る業務	シミックCMO(株) CMIC CMO Korea Co., Ltd. CMIC CMO USA Corporation シミックJSRバイオロジクス(株) ※
CSO事業	製薬企業の医薬品等の営業・マーケティング支援に係る業務	シミック・アッシュフィールド(株) エムディエス・シーエムジー(株) ※
ヘルスケア事業	SMO（治験施設支援機関）業務、ヘルスケア情報サービスなど、主に医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進のための支援業務	サイトサポート・インスティテュート(株) シミックヘルスケア(株) CMIC VIETNAM COMPANY LIMITED
IPM事業	革新的な手法で患者や製薬企業にソリューションを提供するプラットフォーム型事業。現在は、主に診断薬やオーファンドラッグ等の開発、販売	シミックホールディングス(株) シミックCMO(株) (株)オーファンパシフィック

- 2016年10月1日付で(株)シミックBSは商号をシミックキャリア(株)に変更、セグメントをCSO事業からCRO事業に変更
- 2016年10月1日付でCMO事業はCDMO事業に、IPD事業をIPM事業に、セグメント名称を変更
- 2017年4月1日付で(株)ヘルスクリックは商号をシミックヘルスケア(株)に変更

2017年9月期 総括

Project Phoenixの推進

- ▶ アジャイル経営実現のための経営システムの構築
- ▶ PVCモデル案件の受託進展
- ▶ IPMプラットフォームを活用した案件受託

CRO事業

- ▶ 再生医療分野の支援体制強化
- ▶ Fosun Pharmaグループと、中国蘇州市にジェネリック医薬品承認取得支援を行う合併会社を設立

CDMO事業

- ▶ 戦略的な設備投資 新注射剤棟の建設
- ▶ ジェネリック医薬品の受託生産増加

CSO事業

- ▶ メディカル・アフェアーズ領域のサービス開始

ヘルスケア事業

- ▶ SMO業務の大幅な業績回復

IPM事業

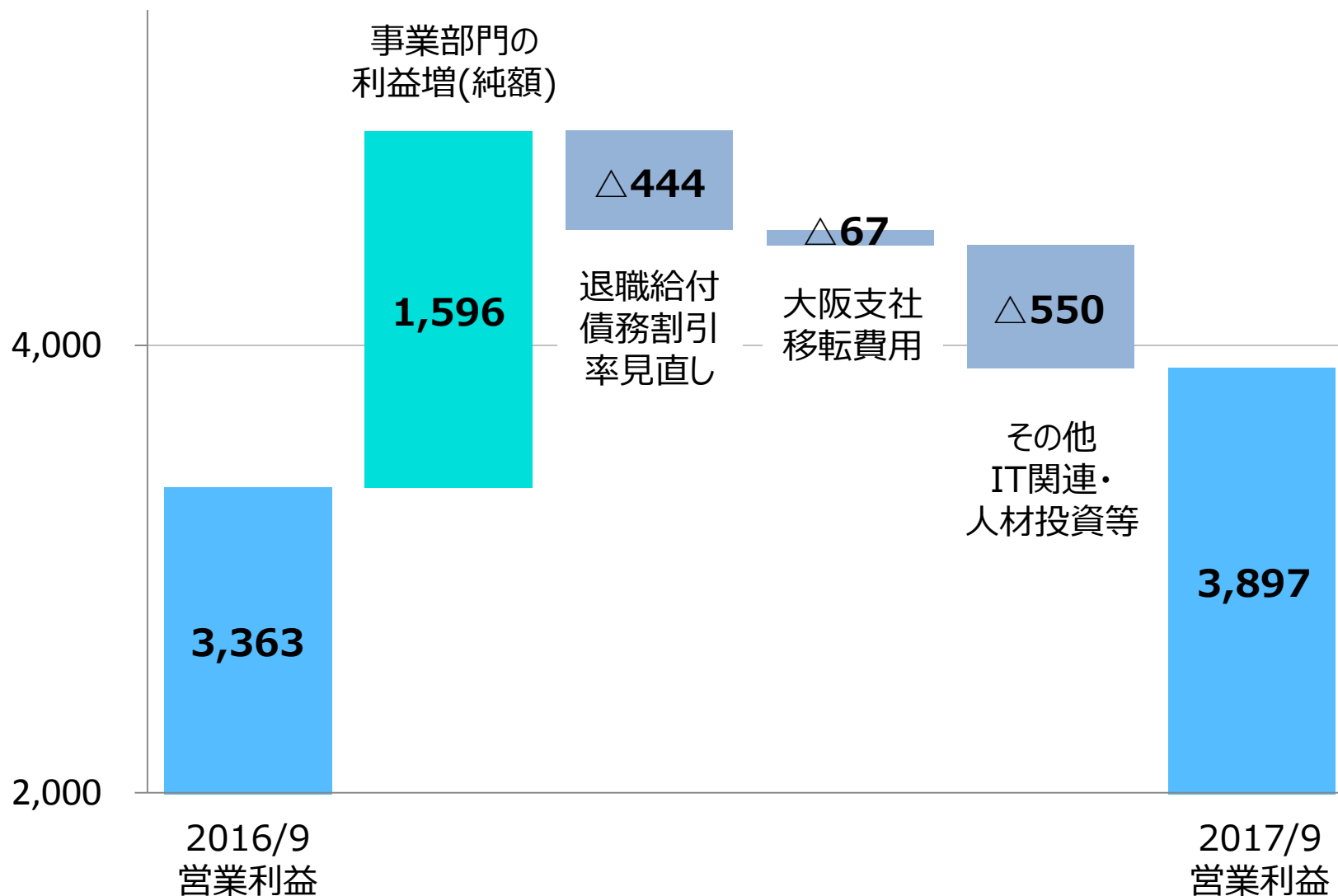
- ▶ オーフアンドラッグ事業の売上拡大 ジアゾキシドカプセル「MSD」販売開始

連結損益計算書（要約）

	2016/9		2017/9		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
売上高	62,039	100.0	65,282	100.0	3,242	5.2
営業利益	3,363	5.4	3,897	6.0	533	15.9
経常利益	2,989	4.8	3,732	5.7	743	24.9
親会社株主に帰属する当期純利益	878	1.4	1,550	2.4	671	76.4
1株当たり 当期純利益	47円00銭		82円90銭			

営業利益の前年比 増減要因

(百万円)



営業外損益・特別損益等の内訳

			(百万円)		
	2016/9	2017/9	2016/9	2017/9	
営業外収益内訳	131	168	特別損失内訳	389	463
為替差益	—	96	貸倒引当金繰入額※	241	310
受取利息	31	16	固定資産売却損	—	27
受取家賃	16	8	固定資産除却損	45	125
受取補償金	21	—	減損損失	11	—
その他	60	47	支払補償金	90	—
			その他	1	—
			※ベトナム事業に関する貸倒引当金を計上しております		
営業外費用内訳	505	332			
支払利息	143	121			
持分法投資損失	108	147			
為替差損	186	—			
その他	66	63			

セグメント別売上高および営業利益

		2016/9 金額 (百万円)	2017/9 金額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	売上高	31,716	34,176	2,459	7.8
	営業利益	5,193	5,844	651	12.5
C D M O 事業	売上高	14,201	14,459	257	1.8
	営業利益	293	462	168	57.6
C S O 事業	売上高	7,397	6,885	△511	△6.9
	営業利益	452	415	△37	△8.3
ヘルスケア事業	売上高	6,895	7,706	810	11.8
	営業利益	172	988	816	474.2
I P M 事業	売上高	2,245	2,380	135	6.1
	営業利益	△228	△627	△399	-
調 整 額	売上高	△417	△326	91	-
	営業利益	△2,520	△3,186	△665	-
合 計	売上高	62,039	65,282	3,242	5.2
	営業利益	3,363	3,897	533	15.9

受注高・受注残高

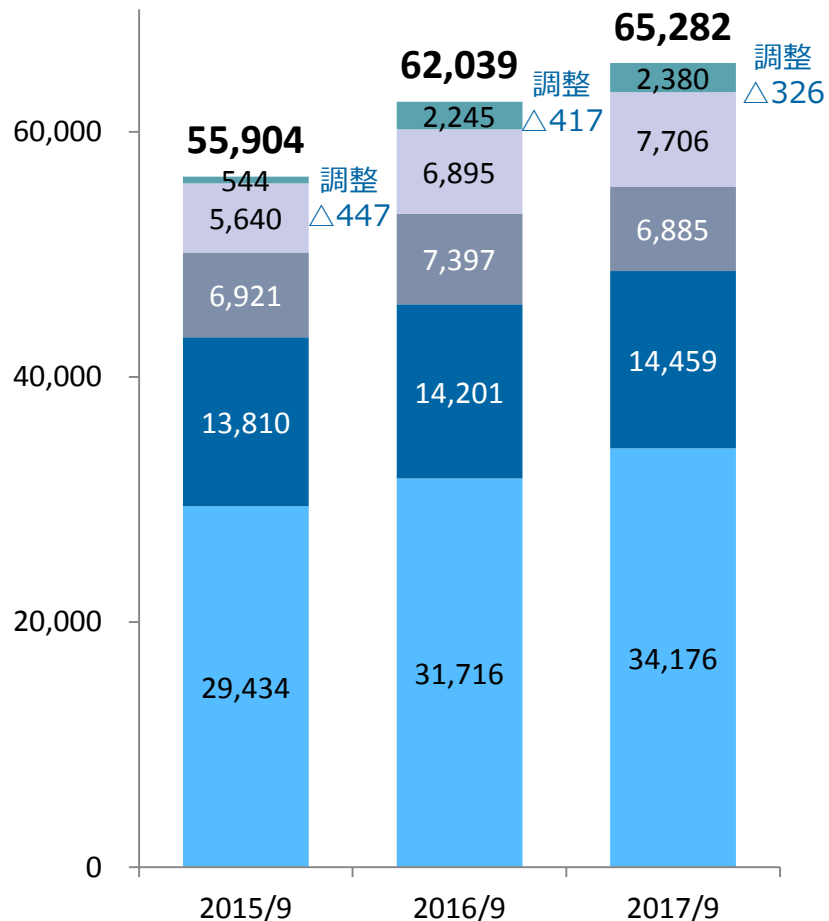
	2016/9		2017/9			
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	増減率 (%)	受注残高 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	34,174	45,586	43,372	26.9	54,935	20.5
CDMO事業	14,179	3,289	14,695	3.6	3,619	10.0
C S O 事業	5,824	5,594	4,386	△24.7	3,095	△44.7
ヘルスケア事業	7,415	9,490	7,267	△2.0	9,129	△3.8
合 計	61,593	63,961	69,722	13.2	70,779	10.7

- CDMO事業の受注残高は確定注文を受けているもののみ計上。顧客からは年間ベースの発注計画等の提示を受けているが、確定注文とは異なるので受注残高には含めていない。
- IPM事業は受託事業と業態が異なるため、受注情報から除外している。

連結売上高および営業利益の推移

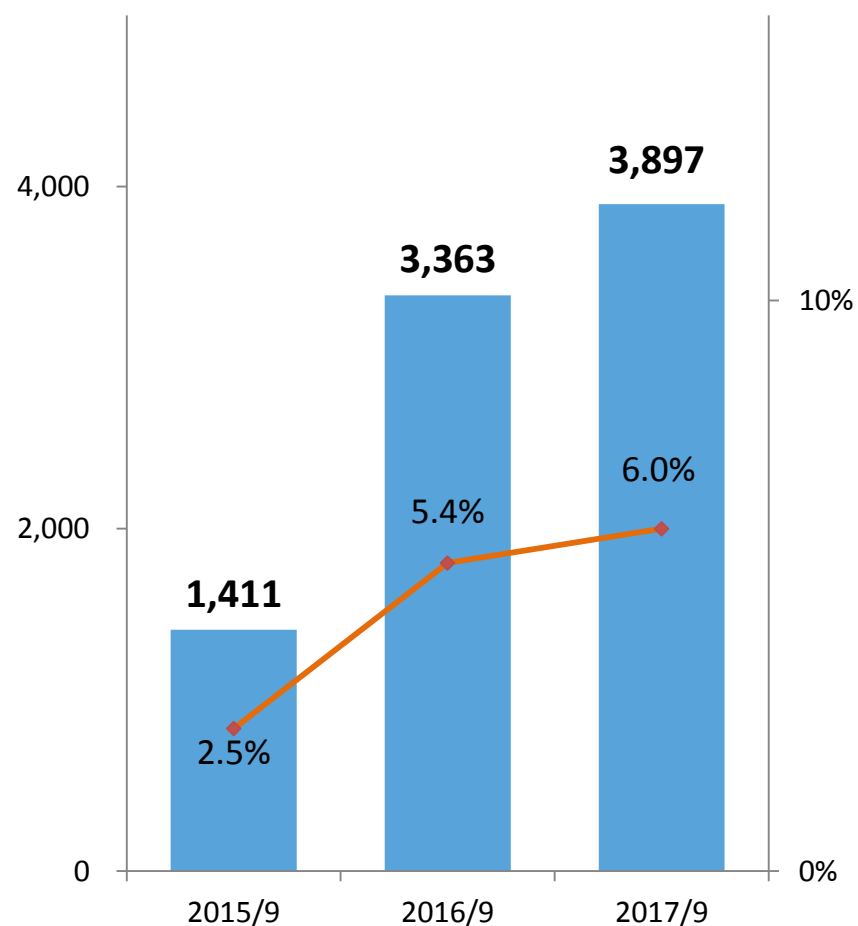
【売上高】

(百万円)



【営業利益】

(百万円)



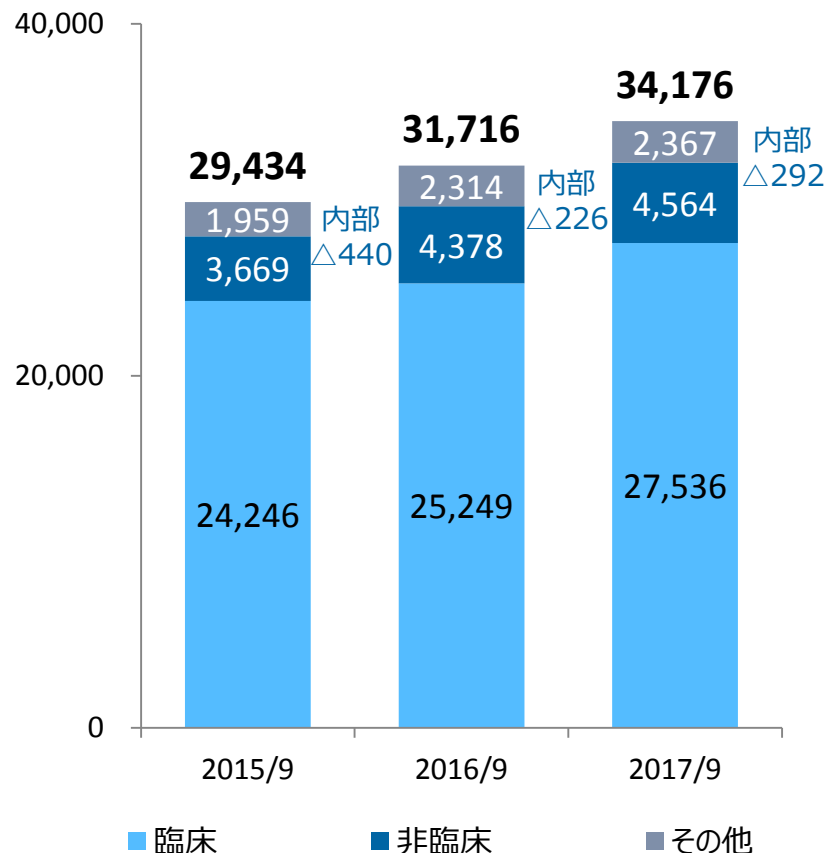
■ CRO事業 ■ CDMO事業 ■ CSO事業 ■ ヘルスケア事業 ■ IPM事業

■ 営業利益 ◆ 営業利益率

医薬品開発支援（CRO）事業

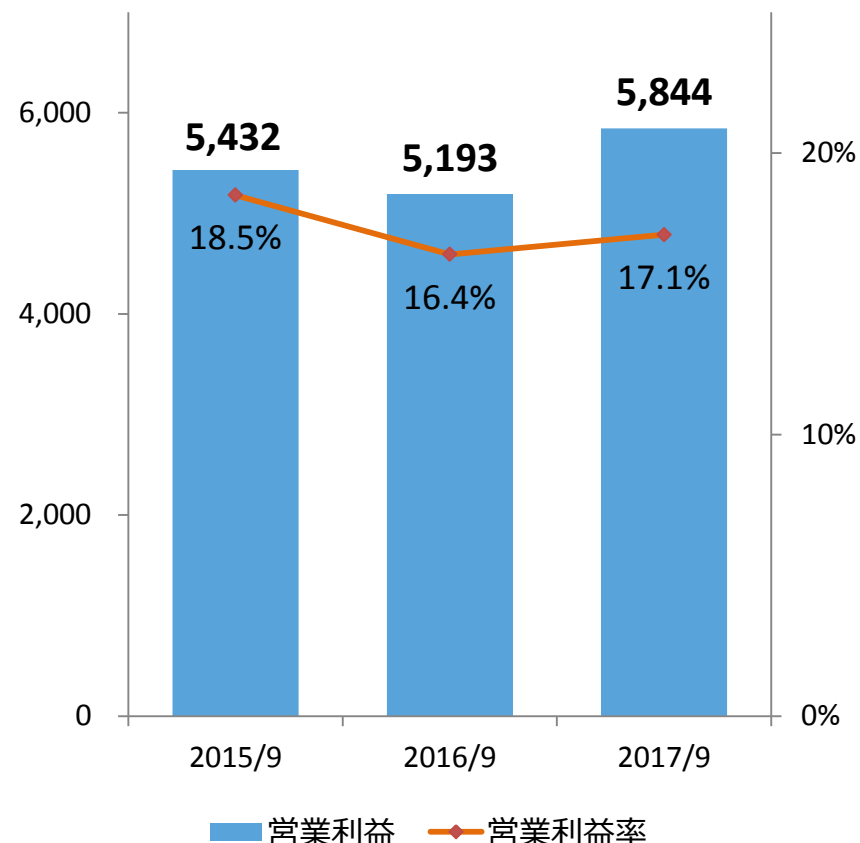
【売上高】

(百万円)



【営業利益】

(百万円)

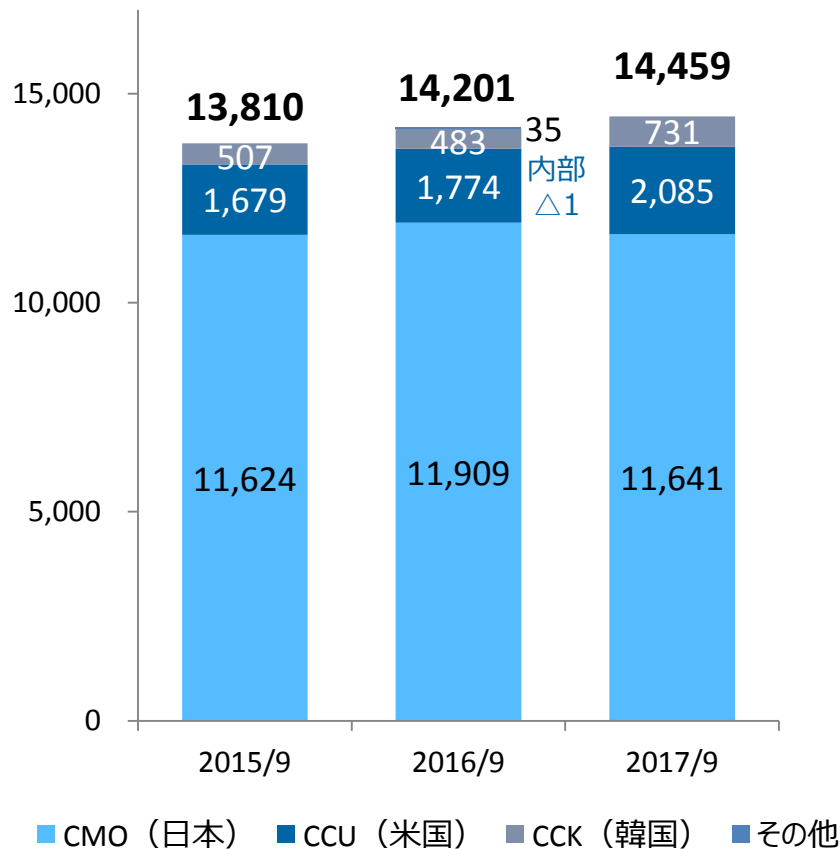


堅調な引合いに応じた人材の確保、更なる専門性と品質向上を目指した人材育成に取り組む。再生医療分野に関する支援体制を構築。非臨床業務において米国進出企業の支援など日米の連携を強化、また、中国蘇州にジェネリック医薬品承認取得支援を行う合弁会社を設立。新規受注及び既存案件が堅調に進捗したことにより、売上高及び営業利益が前年を上回る。

医薬品製剤開発・製造支援（CDMO）事業

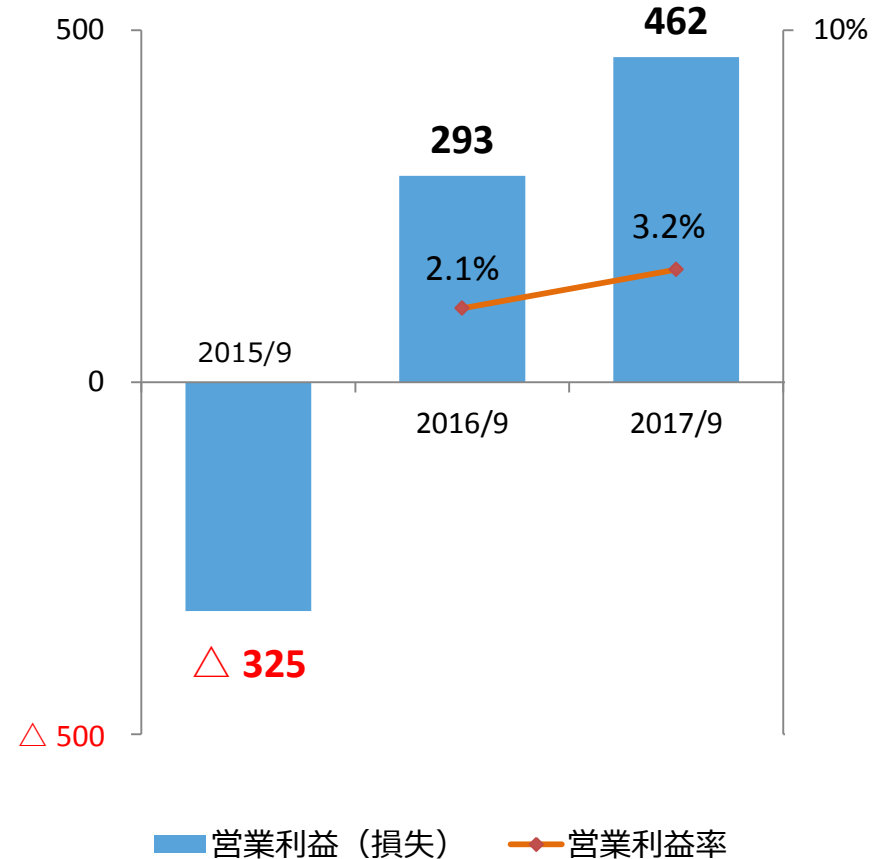
【売上高】

(百万円)



【営業利益】

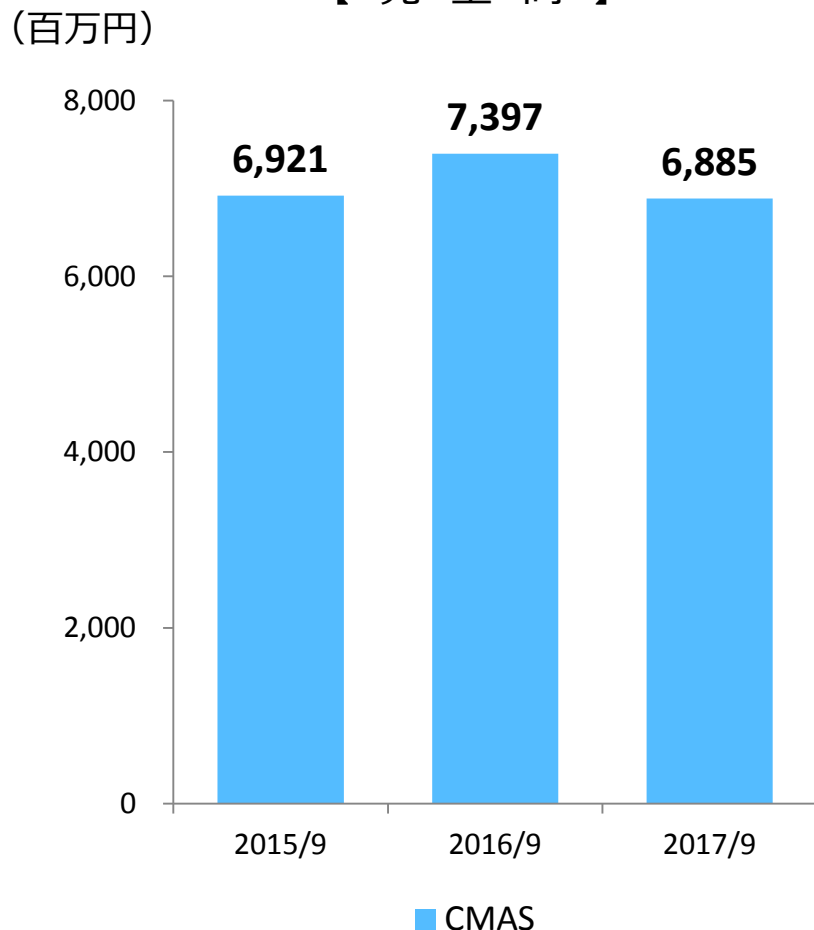
(百万円)



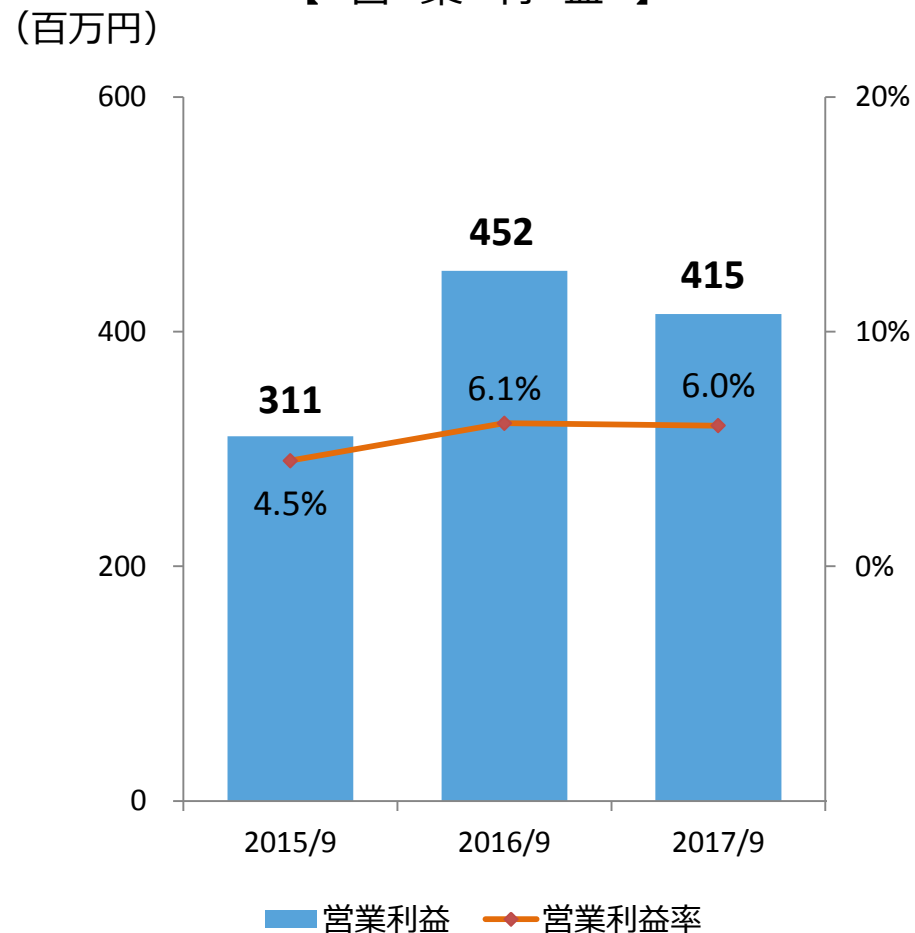
価格競争力のあるコスト構造への転換に継続的に取組み、ローコスト生産体制の構築が進展。ジェネリック医薬品等の新規受託が増加。新規受注及び既存案件の受託生産が堅調に進捗したことにより、売上高及び営業利益が前年を上回る。

医薬品営業支援（CSO）事業

【売上高】



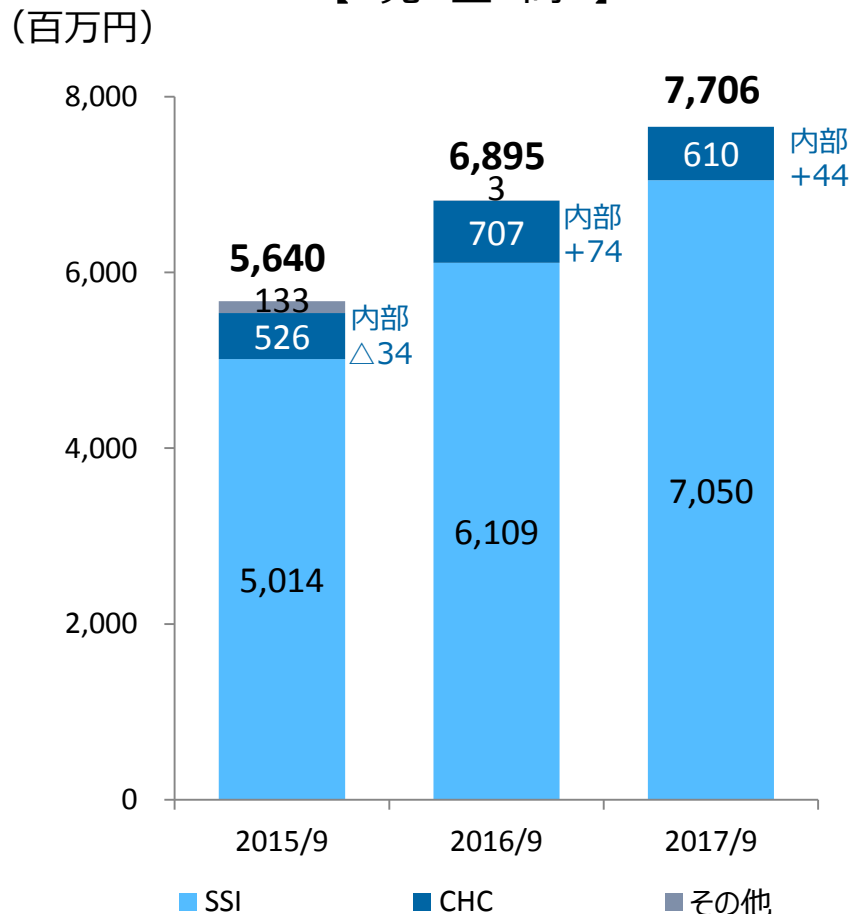
【営業利益】



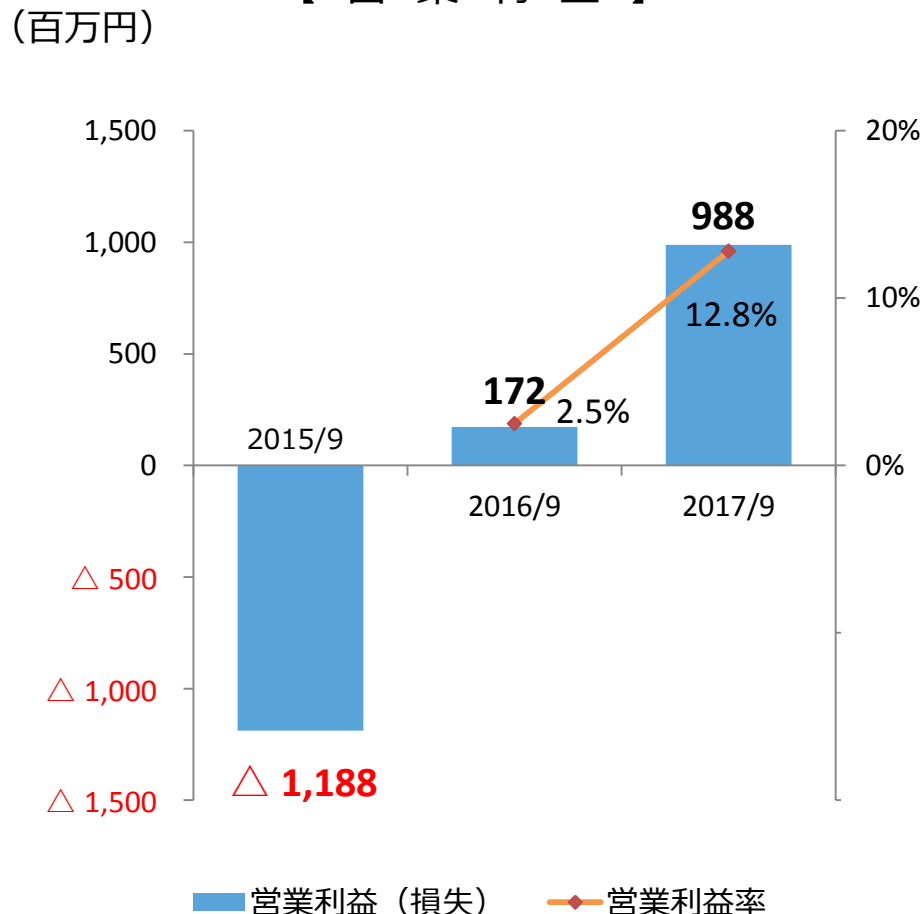
シミック・アッシュフィールドにおいて、受注力強化及び既存案件の着実な進行に取り組む。マルチチャネルのサービス提供を進めるなど、市場シェアの拡大を図る。MR派遣業務のアウトソーシングニーズが調整局面にあることから、売上高及び営業利益は前年を下回る。

ヘルスケア事業

【売上高】



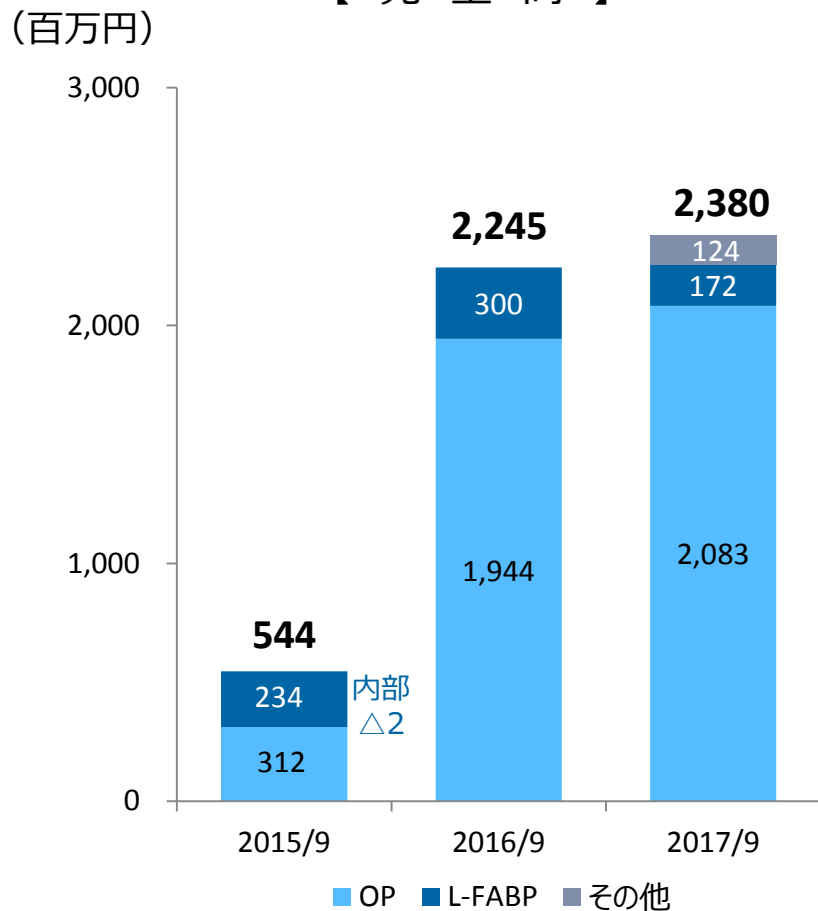
【営業利益】



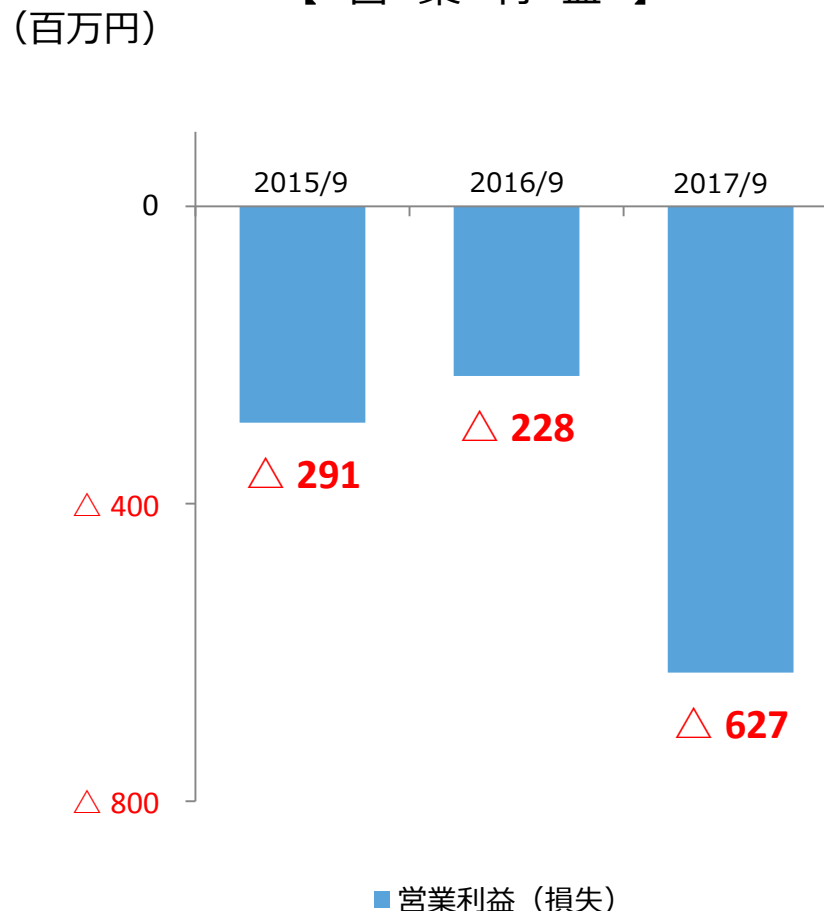
SMO業務における営業活動の一層の強化、医療機関ネットワーク拡大への取組みを通じた新規案件の獲得を推進。売上高は新規案件及び既存案件が堅調に進捗し前年を大幅に上回る。経営効率化策の継続実施により、営業利益も前年を大幅に上回る。

Innovative Pharma Model (IPM) 事業

【 売上高 】

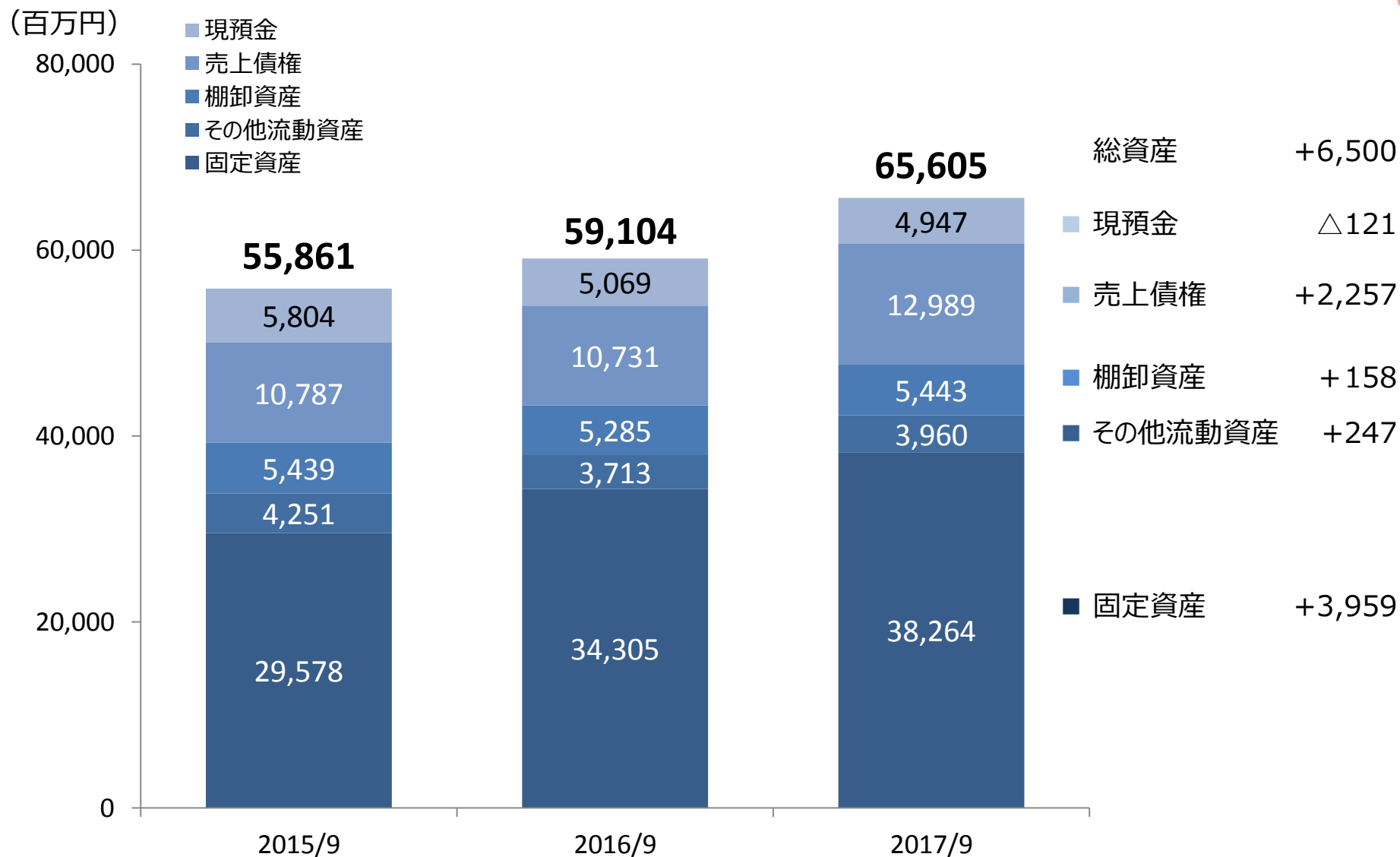


【 営業利益 】

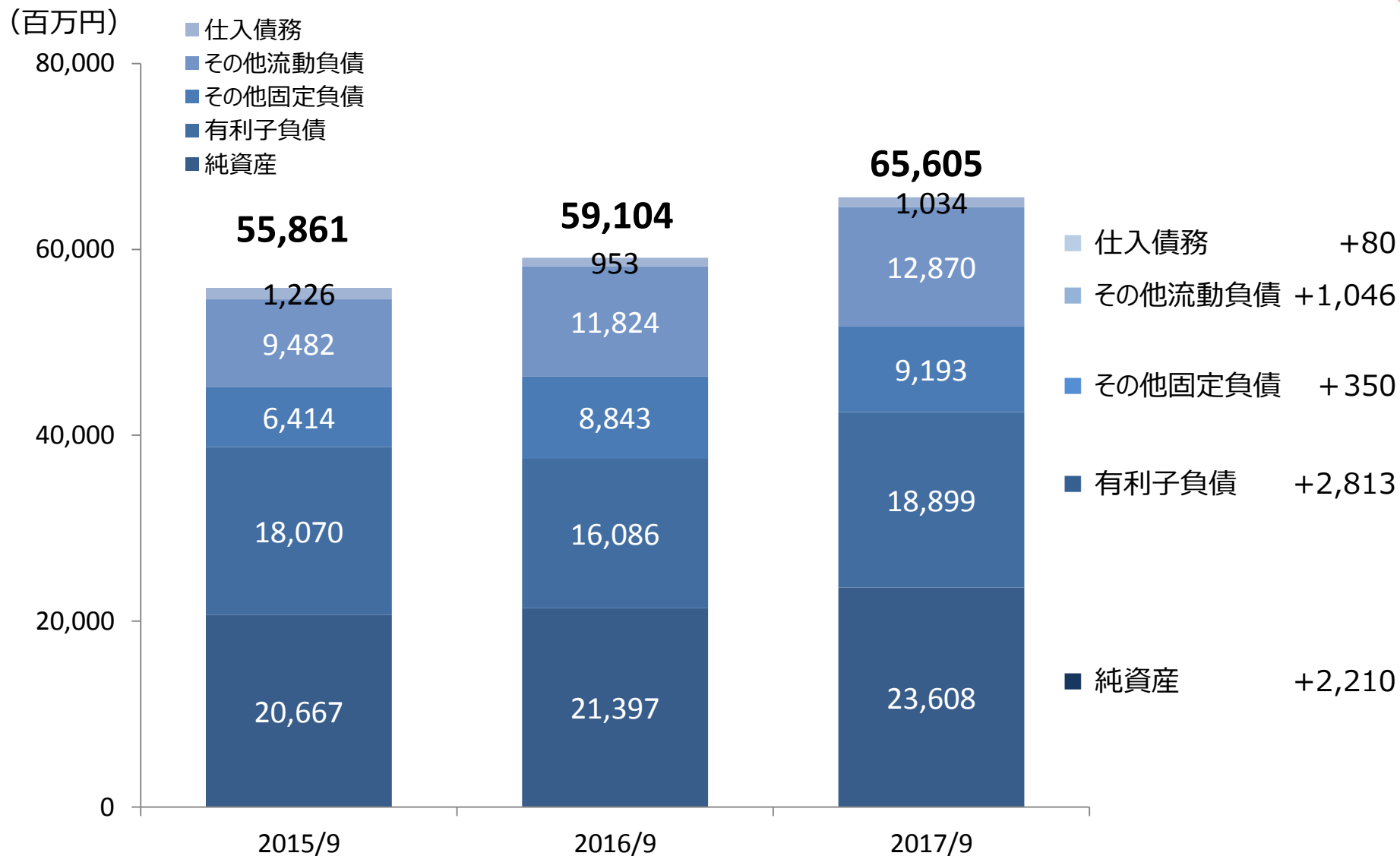


自社開発品を含むオーファンドラッグ等の販売および製薬会社から販売移管を受けた治療薬の販売を開始するなど、IPM事業の基盤強化に取り組む。診断薬事業において、体外診断薬の簡易検査 (Dip-test) キットの販売を開始。新たなソリューションモデルとして「ザンミーラネイル」全国販売。売上高は前年同期を上回るが、広告宣伝費等の販売促進費用の発生等により営業利益は前年同期を下回る。新しいソリューション提供による事業規模拡大に向けて、活発に事業開発活動を行う。

連結貸借対照表 (資産の部)



連結貸借対照表（負債の部・純資産の部）



キャッシュ・フロー

	(百万円)		
	2016/9	2017/9	増 減
営業活動によるCF	6,493	4,937	△1,555
投資活動によるCF	△4,639	△7,541	△2,901
財務活動によるCF	△2,391	2,458	4,849
現金及び現金同等物の 換算差額	△153	126	280
現金及び現金同等物の 増減額	△692	△19	673
現金及び現金同等物の 期首残高	5,638	4,946	△692
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	—	1	1
現金及び現金同等物の 期末残高	4,946	4,928	△17

【主な内訳】

(営業活動によるCF)

- ・税金等調整前当期純利益及び減価償却費等による収入
- ・法人税等の支払額の増加

(投資活動によるCF)

- ・有形固定資産の取得による支出
- ・投資有価証券の取得による支出

(財務活動によるCF)

- ・金融機関からの長期借入れによる収入
- ・長期借入金の返済による支出

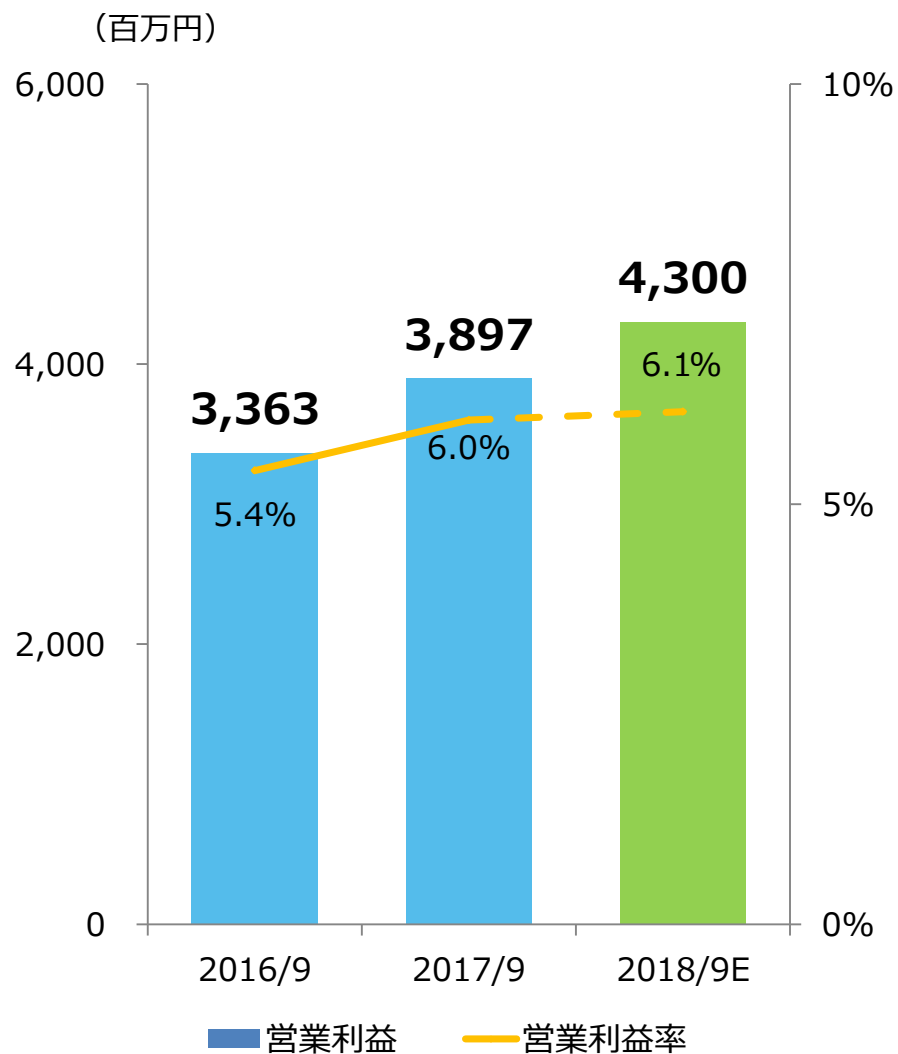


2018年9月期 業績見通し



2018年9月期 通期見通し

	2017/9 実績 (百万円)	2018/9 見通し (百万円)	増減率 (%)
売上高	65,282	70,500	8.0
営業利益	3,897	4,300	10.3
経常利益	3,732	3,930	5.3
親会社株主に 帰属する当期 純利益	1,550	1,700	9.6
1株当たり 当期純利益	82円90銭	90円89銭	



2018年9月期 通期見通し (セグメント別)

		2017/9実績 (百万円)	2018/9見通し (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	売上高	34,176	36,500	2,323	6.8
	営業利益	5,844	5,950	105	1.8
C D M O 事業	売上高	14,459	15,900	1,440	10.0
	営業利益	462	480	17	3.9
C S O 事業	売上高	6,885	7,300	414	6.0
	営業利益	415	450	34	8.4
ヘルスケア事業	売上高	7,706	7,800	93	1.2
	営業利益	988	1,050	61	6.2
I P M 事業	売上高	2,380	3,400	1,019	42.8
	営業利益	△627	△450	177	—
調 整 額	売上高	△326	△400	△73	—
	営業利益	△3,186	△3,180	6	—
合 計	売上高	65,282	70,500	5,217	8.0
	営業利益	3,897	4,300	402	10.3

CRO事業 2018年9月期の取組み

- ▶ 専門性向上により、高度化する開発ニーズに対応
(抗がん剤、再生医療等製品、医療機器等)
- ▶ アウトバウンド強化によるグローバル支援
- ▶ 臨床研究及びデータベースを活用した市販後支援ビジネスの展開
- ▶ 非臨床業務における、日米シームレスな連携強化、中国ジェネリック
医薬品承認取得支援事業の開始、再生医療関連事業の拡充

2018/9E
(百万円)

売上高	36,500
営業利益	5,950



CMIC, INC. US Lab



CPT China (ジェネリック承認取得支援)



バイオリサーチセンター (山梨県)

CDMO事業 2018年9月期の取組み

- ▶ 生産性と効率性を追求し、ローコスト生産体制の確立
- ▶ 新技術の獲得を通じた製剤開発技術力の強化
- ▶ 新注射剤棟における生産体制の確立

2018/9E
(百万円)

売上高	15,900
営業利益	480



静岡工場



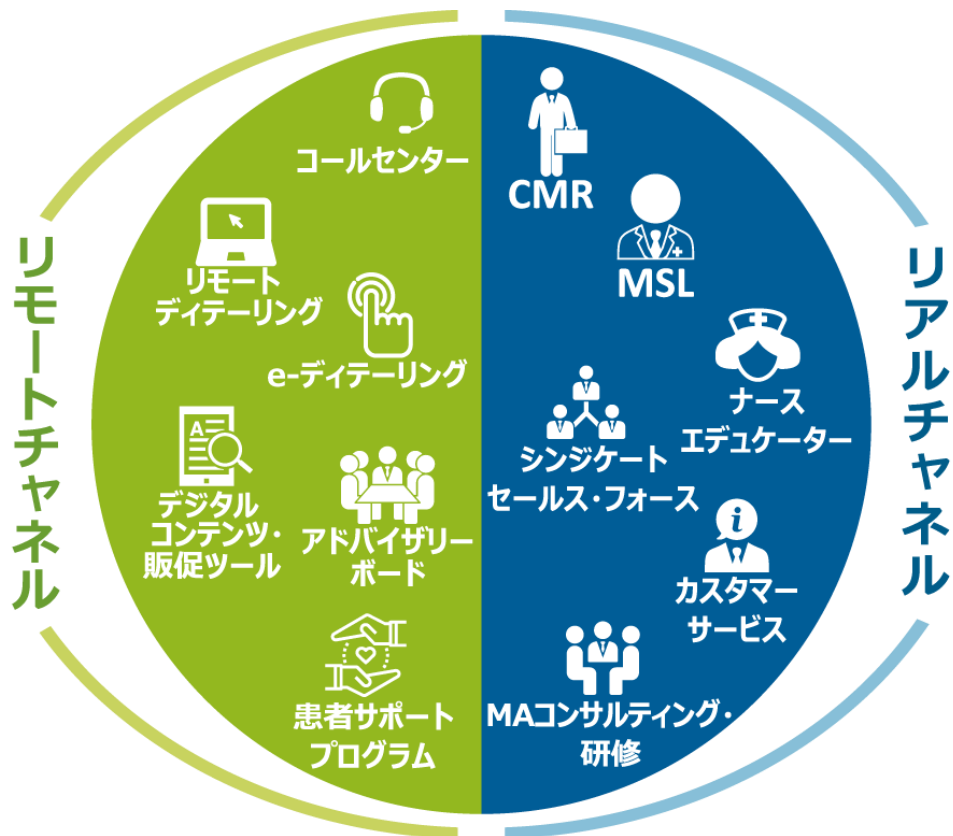
新注射剤棟 (足利)

CSO事業 2018年9月期の取組み

- ▶ マルチチャネルソリューションの強化と市場シェア拡大
- ▶ サービスの組み合わせによる総合的なコマースソリューションの提案
(従来型C-MR、シンジケート型MR、MSL、コールセンター、リモートディテリングなど)

2018/9E
(百万円)

売上高	7,300
営業利益	450



ヘルスケア事業 2018年9月期の取組み

- ▶ 品質・コンプライアンス重視体制の維持
- ▶ 医療生産性の向上への貢献
- ▶ メディカルコンシェルジュサービス等の新サービスの拡充
- ▶ 「患者様中心の医療の実現」にむけたデジタルヘルス事業の構築

2018/9E
(百万円)

売上高	7,800
営業利益	1,050



臨床研究倫理の基礎について専門家による講座を実施
(1クラス 3時間×12回)

<講師>

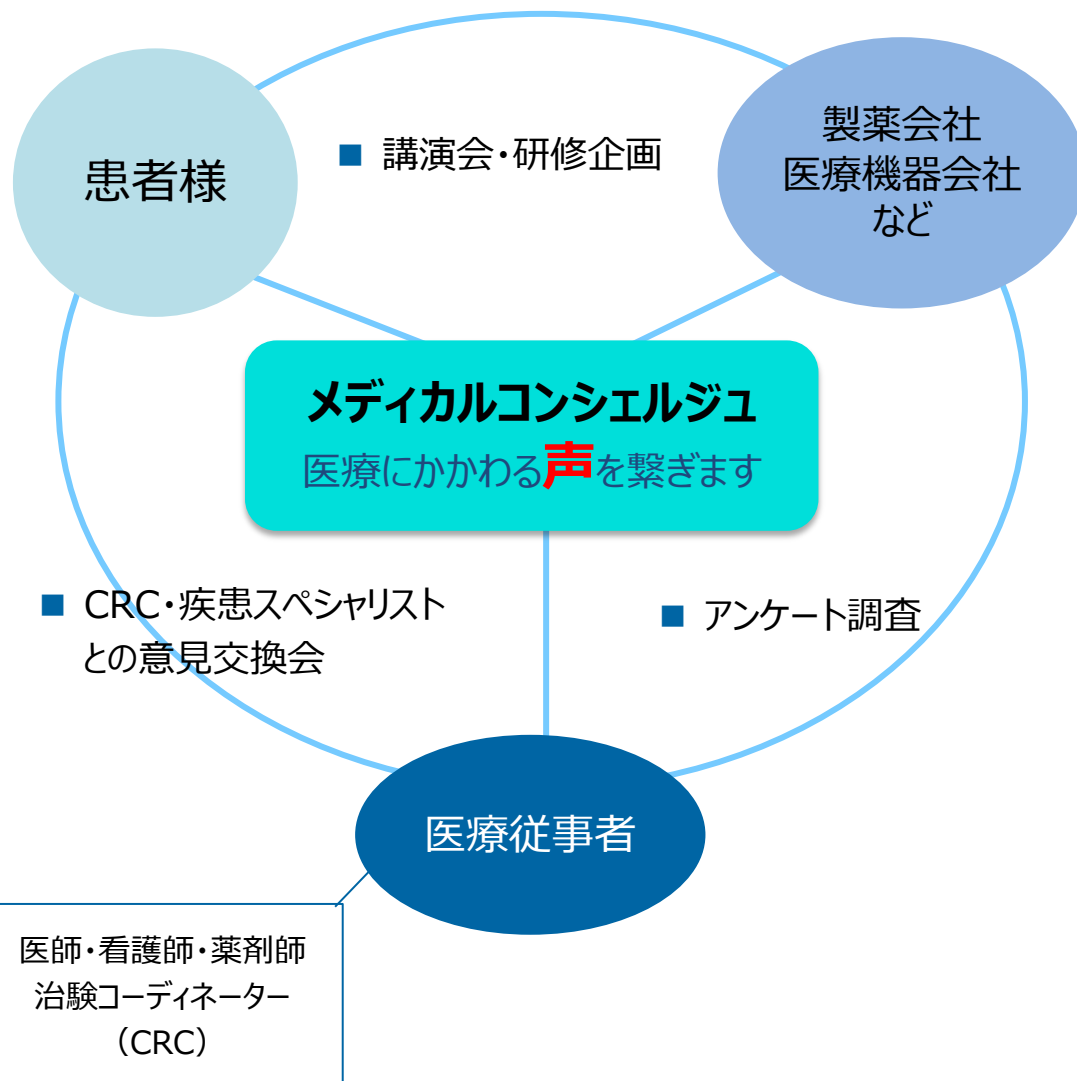
慶應義塾大学 教授 前田正一 先生

専門領域：医事法学、医療倫理学、医療安全管理学

修了証
臨床研究倫理等に関する教育講座



あなたは、慶應義塾大学 SFC 研究所 医療倫理・医療安全教育研究・
臨床研究倫理等に関する教育講座 (12回コース：平成 29年 10月～
) 修了したので、これを証します。



受託案件

【アンケート】

- ▶ 心不全試験関連するアンケート
- ▶ 整形外科医療器具に関するアンケート
- ▶ 皮膚科領域に関するアンケート
- ▶ 製剤開発に関するアンケート

【インタビュー】

- ▶ 医療機器Aに関するCRC対象インタビュー
- ▶ 医療機器Bに関するCRC対象インタビュー
- ▶ 医療機器Cに関するCRC対象インタビュー

【ワークショップ・講演会】

- ▶ 講演会講師依頼
- ▶ CRA対象勉強会講師

【その他】

- ▶ 医師への面談依頼

IPM事業 2018年9月期の取組み

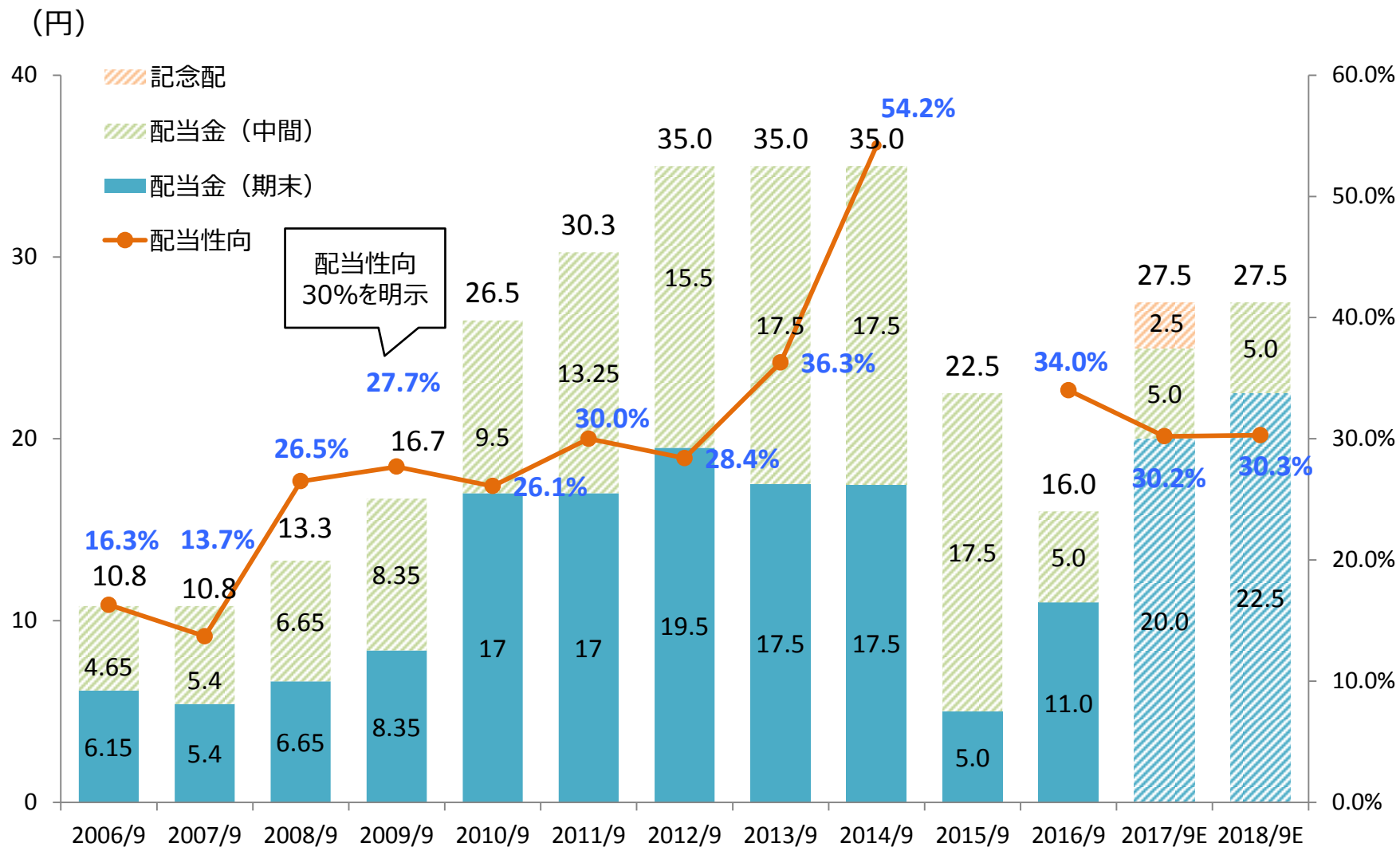
- ▶ シミックグループとメディパルグループの機能を革新的に活用したオーファンドラッグの提供
- ▶ 既存品のポートフォリオ拡大（適用・剤型変更）への対応
- ▶ 必須医薬品の安定供給に貢献するとともに、新規のオーファンドラッグの導入や、海外企業の日本市場進出支援
- ▶ 腎疾患バイオマーカー(L-FABP)の市場機会の拡大

2018/9E
(百万円)

売上高	3,400
営業利益	△450



1株当たり配当金と普通配当性向の推移





Project Phoenixの 進捗

代表取締役CEO 中村 和男

CMICの概要



CMIC独自の事業モデル（PVC）

CSO事業

(Contract Sales Organization)

医薬品マーケティング・営業支援

ヘルスケア事業

(Healthcare)

個人のヘルスバリューを高める事業

Pharmaceutical Value Creator

製薬企業のストラテジックパートナーへ

CDMO事業

(Contract Development Manufacturing Organization)

医薬品製剤開発・製造支援事業

IPM事業

(Innovative Pharma Model)

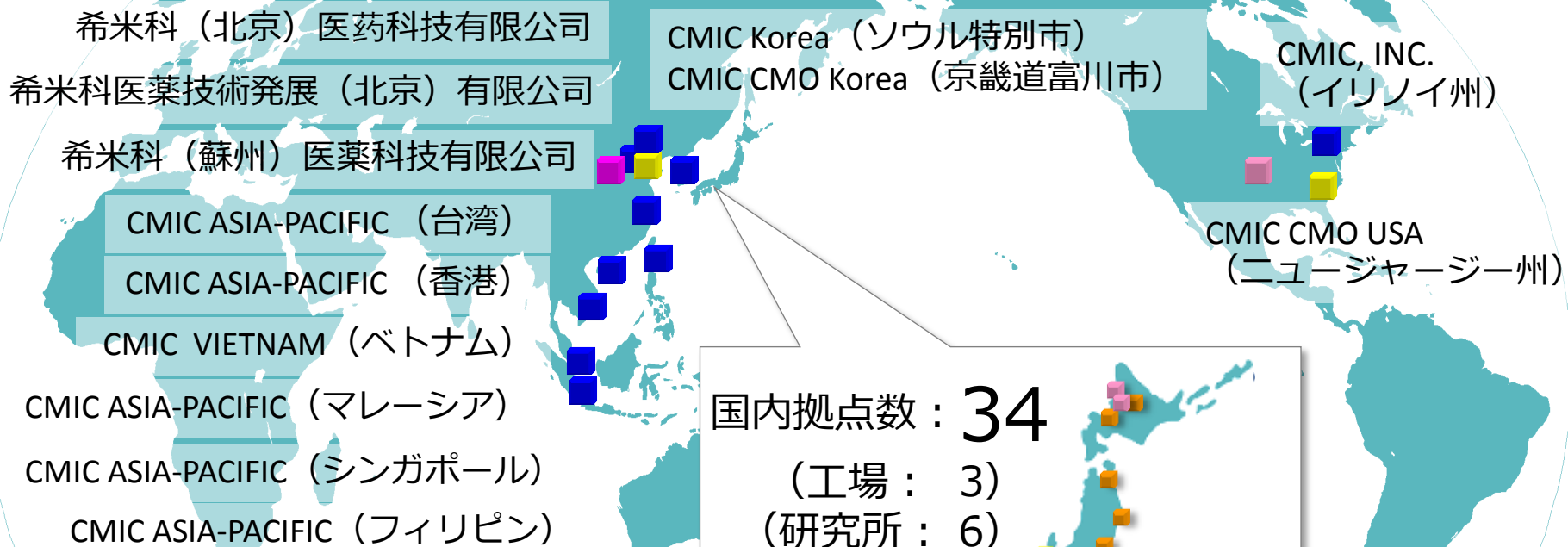
製薬会社のための製薬会社

CRO事業

(Contract Research Organization)

医薬品開発支援

シミックグループのエリア展開



海外拠点数：13

（工場：2）
（研究所：2）

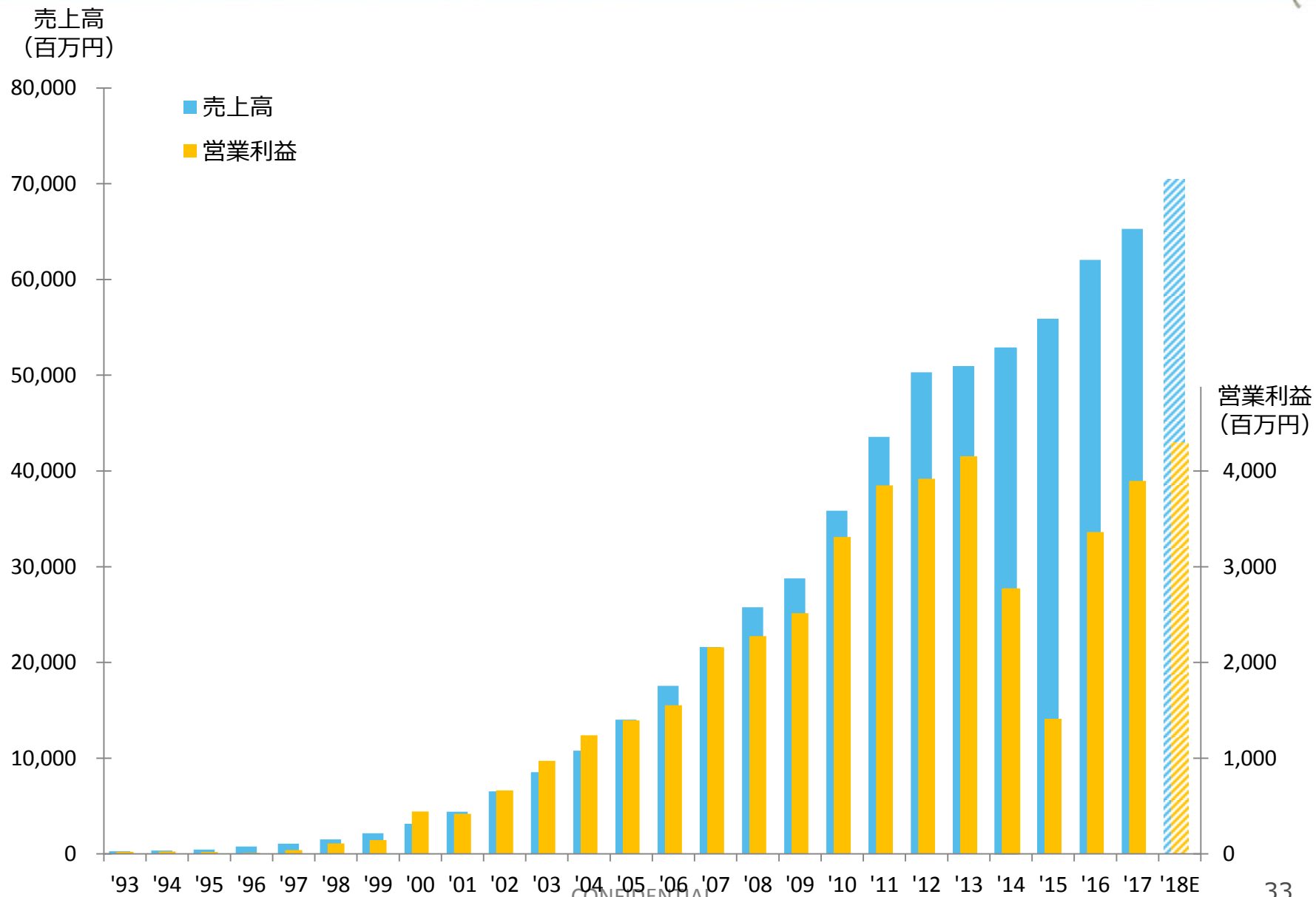
- オフィス所在地
- 工場所在地
- 研究所所在地

国内拠点数：34

（工場：3）
（研究所：6）

- オフィス/サテライト所在地
- 工場所在地
- 研究所所在地

売上高と営業利益の推移

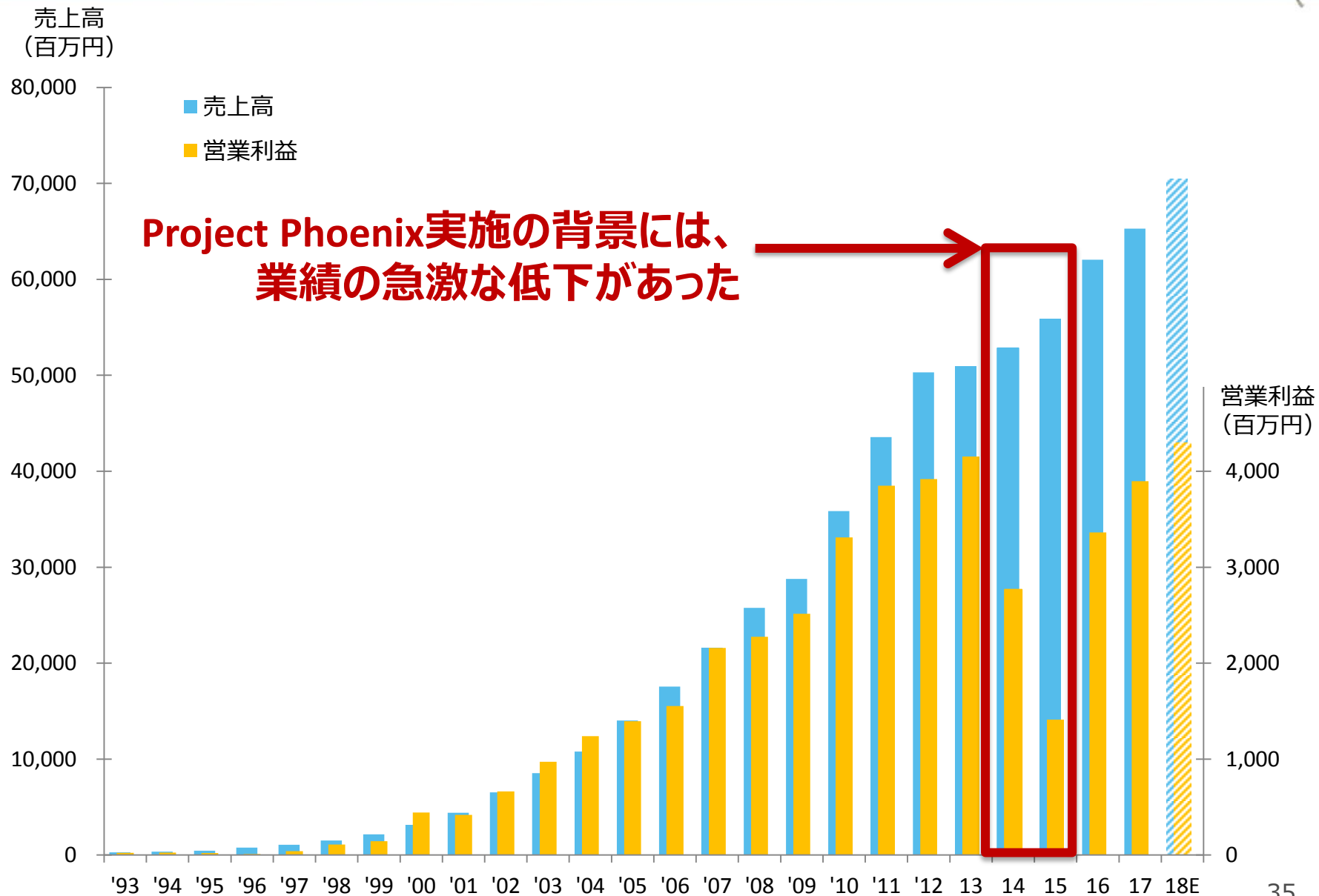




Project Phoenix

**「収益の伴った成長を実現する」を目的に
2014年10月より開始**

売上高と営業利益の推移





2014年10月より

Project Phoenixをスタート

収益の伴った成長を実現するために

Phoenix 1.0 (2014年10月–2016年3月)

- ▶ 企業文化の確立 (CMIC'S CREED)
- ▶ 赤字事業の解消、コスト構造の改革

Phoenix 2.0 (2016年4月–2018年3月)

- ▶ アジャイル経営に向けた組織再編、人財教育
- ▶ PVC機能を活用したソリューション提供
- ▶ Innovative Pharma Modelのプラットフォーム提供を開始

Phoenix 3.0 (2018年4月開始予定)

2014年10月より「Project Phoenix 1.0」を開始

各部門のサイロをなくし、社員の高いモチベーションを維持



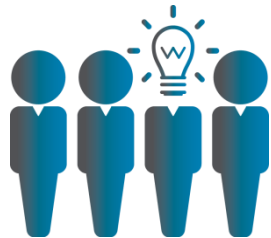
【企業文化の確立】

- ▶ CMIC'S CREEDの制定



【赤字事業の解消】

- ▶ CDMO事業
- ▶ SMO事業



【その他の取り組み】

- ▶ 働き方改革
(本社移転：フリーアドレス、モバイル環境の整備)
- ▶ 人財育成の強化 (研修センター設置)

「CMIC'S CREED」のさらなる浸透

私たちの決意

一度しかない人生を、年齢や性別、人種に関わらず、誰もがその人らしくまっとうしていくために、ヘルスケア分野に革新をもたらすことを、シミックグループの志とする。

まばゆい成長力を開花させる幼年でも、人生を成熟させていく老年でも、今この瞬間を生きようとする願いは、どれも等しく尊い。そのすべてをひとつたりとも見過ごすことなく、正面から受けとめていきたい。

そのために私たちは、いついかなるときもより良い未来を求める挑戦者でいたい。そして、自己を変革し、新たな視点を獲得することで、自らのゆるぎない情熱を価値に変えて、人や社会に提供し続けていく。

CREEDワークショップ



W&C
Wellbeing
Challenge
Change
Communication



Project Phoenix 2.0

(2016年4月—2018年3月)



2016年4月より「Project Phoenix 2.0」を実施中

- ▶ アジャイル経営に向けた組織再編、人財教育
(マネジメントスタイルの変革)
- ▶ PVC機能を活用したソリューション提供
- ▶ Innovative Pharma Modelのプラットフォーム提供を開始





Project Phoenix2.0

アジャイル経営に向けた組織再編、人財教育
(マネジメントスタイルの変革)

従来の直系式組織に加えて、俊敏な意思決定チームを構築

幹部候補生研修「中村塾」



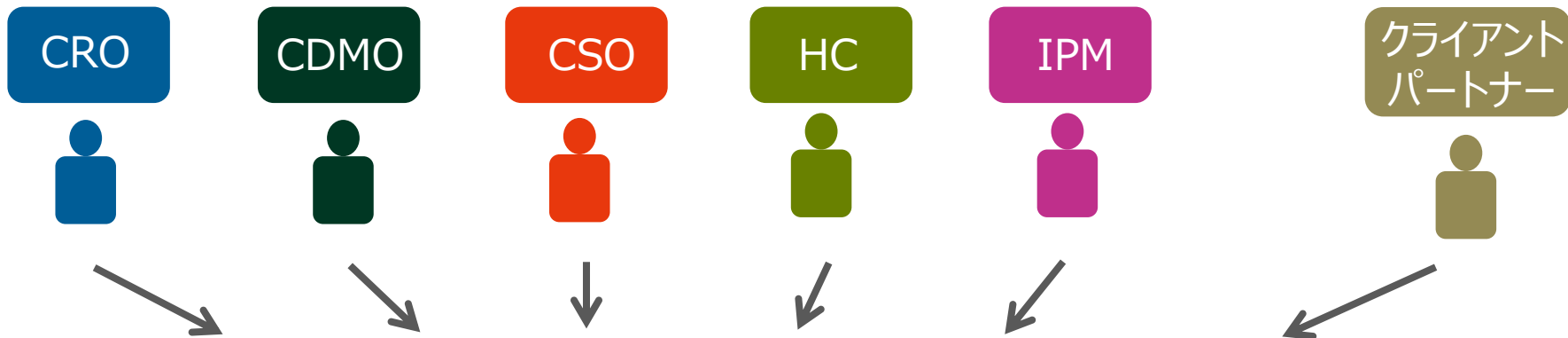
2003年開講



中長期戦略
策定チーム
「はやぶさ」

2017年6月始動

マネジメントスタイルの変革（チーム「はやぶさ」）



チームを迅速に編成

直系式組織に加えて、迅速な意思決定チームを構築





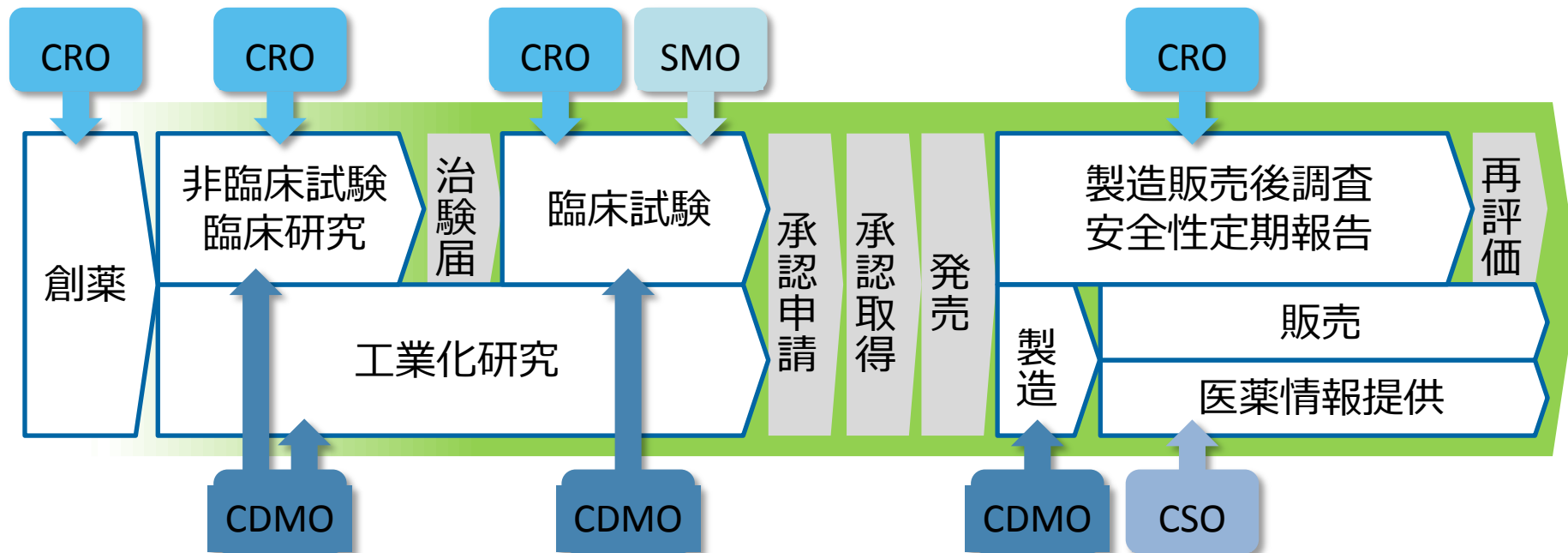
Project Phoenix2.0

PVC (Pharmaceutical Value Creator)

機能を活用したソリューション提供

PVCとは

医薬品を必要とする患者さんのために
製薬会社のバリューチェーンを総合的に支援



PVCを活用したソリューションビジネス

ジャパンビジネスソリューション

- ◆世界第2位の市場である日本に基盤がない企業の日本市場参入を支援

バイオ医薬ビジネスソリューション

- ◆バイオ医薬品開発を総合的に支援

オンコロジービジネスソリューション

- ◆専門性が高く特殊な疾患領域である、がん領域のビジネスを総合的に支援

ジェネリック医薬ビジネスソリューション

- ◆品質と経済性を追求したジェネリック医薬品の開発・生産を総合的に支援

アカデミアソリューション

- ◆アカデミア発の革新的な医薬品の創出を総合的に支援

オーファンドラッグビジネスソリューション

- ◆希少疾患患者さんへ、安定的な医薬品の供給を実現

生薬ビジネスソリューション

- ◆国内薬用植物の安定供給体制構築とマーケット拡大を支援

PVCソリューションの例

ジャパンビジネスソリューション

企業	製品	CMICグループによる支援
A社	代謝領域	<ul style="list-style-type: none">➤ CRO（臨床）：薬事・CTD作成・薬価コンサル・P3モニター、PV➤ CDMO：治験薬、二次包装➤ ヘルスケア：コールセンター➤ CSO：MR派遣 10名➤ PMS：PMS業務
B社	バイオシミラー	<ul style="list-style-type: none">➤ CRO（臨床）：薬事、PV➤ CSO：MR10名
C社	中枢神経領域	<ul style="list-style-type: none">➤ CRO：非臨床試験➤ CDMO：治験薬、受入試験、商用包装、出荷➤ CSO：MR派遣➤ PMS
D社	中枢神経領域	<ul style="list-style-type: none">➤ 日本法人立ち上げ支援➤ 製品開発においてCMICグループへフルアウトソース予定➤ CRO（臨床）：薬事コンサル開始

PVCソリューションの例

異業種の製薬事業進出支援

企業	製品	CMICグループによる支援
E社	長期収載品等	<ul style="list-style-type: none">➤ 新規医薬品事業部門の立ち上げ、事業開発コンサル、薬事、PV、製造技術移管、製造、MR、流通まで全面支援

国内企業の新製品開発の全面支援

企業	製品	CMICグループによる支援
F社	皮膚領域	<ul style="list-style-type: none">➤ CRO（臨床）：P3試験➤ SSI：P3試験➤ CDMO：製剤開発、治験薬製造、商用生産➤ CSO：MR派遣
G社	代謝、循環器領域等	<p>受注予定</p> <ul style="list-style-type: none">➤ CRO（非臨床）：分析➤ CDMO：製剤開発、治験薬製造➤ CRO（臨床）：薬事戦略からPOCまで開発支援➤ 事業開発：ライセンスアウト支援



Project Phoenix2.0

Innovative Pharma Model (IPM) の プラットフォーム提供開始

製薬会社、そして患者さんのためのIPMプラットフォーム

製造販売業許可を活用

- CMICグループの各種製造販売業許可を活用
- 製薬会社の機能代行・実施



ライセンスを保有

- 製販権利も保有するが、それが目的ではない
- 関心を示す他社があれば譲渡
- 製薬会社への多様なビジネス戦略オプション提供



患者が必要とする製品

- 製薬会社の戦略外製品
- アカデミア／バイオベンチャーのシーズを上市



IPMプラットフォーム（国内製薬企業）

国内製薬企業

製薬企業の戦略外製品



CMIC

Pharmaceutical Value Creator

Marketing Approval Holder (MAH)

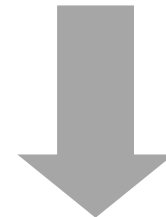
開発、製造、販売等、シミックグループの全機能を活用

承継/届出



厚生労働省

供給



医療機関/患者

IPMプラットフォーム（日本に拠点のない海外製薬企業）

日本に拠点が無い海外製薬企業、アカデミア、バイオベンチャー



Marketing Approval Holder (MAH)

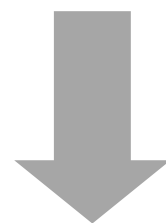
開発、製造、販売等、シミックグループの全機能を活用

承認申請
/ 取得



厚生労働省

供給



医療機関/患者

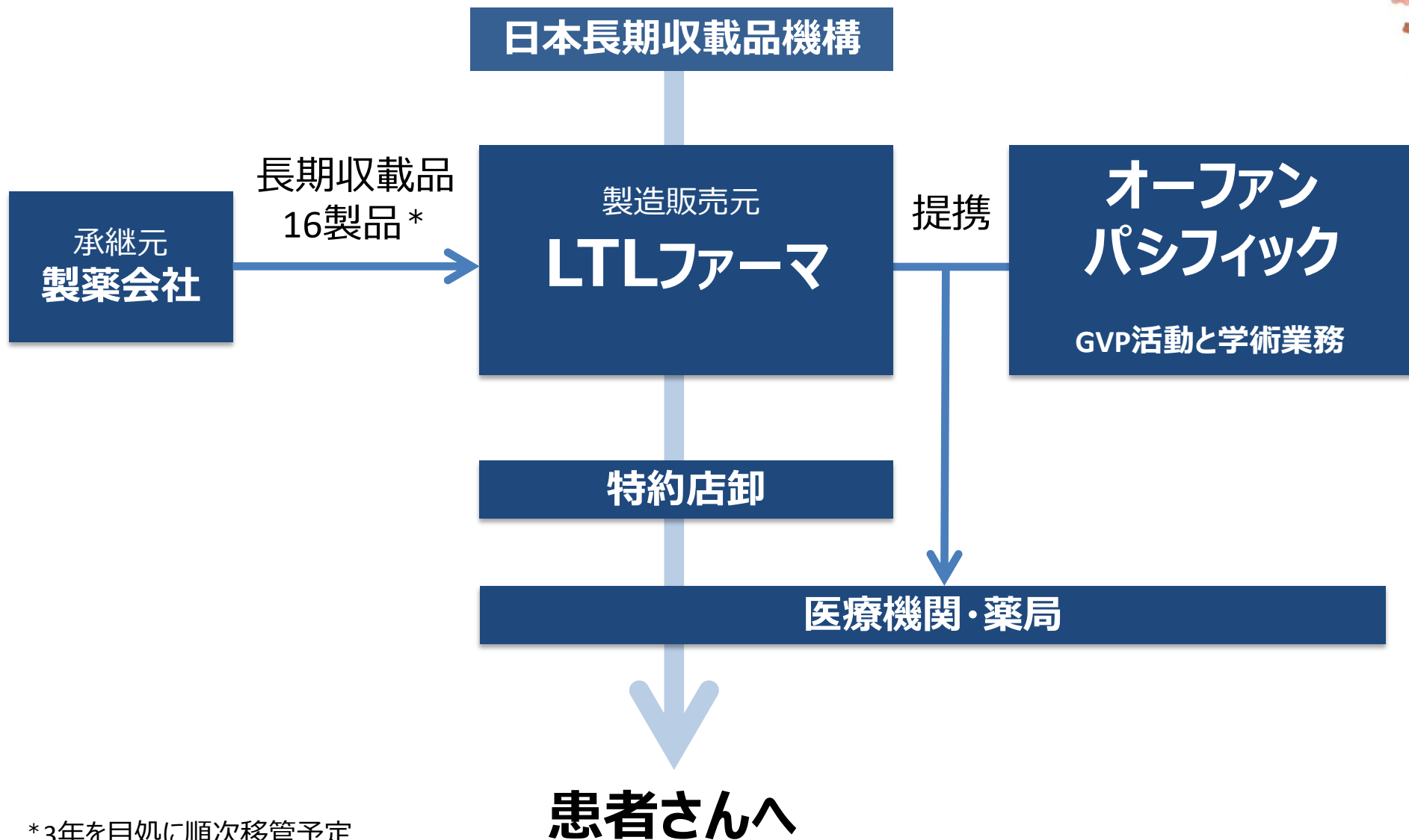
返還、承継または
ライセンスアウト



製薬企業



IPMプラットフォーム活用事例



* 3年を目処に順次移管予定

Healthcare Revolution



超高齢社会

医療費抑制

パーソナル
ヘルスバリュー

Ethics

薬の費用対効果
(HTA)

健康寿命

Healthcare Revolution

精密医療
(Precision
Medicine)

リアルワールドデータ
(RWD) 活用

バイオマーカー

ビッグデータ

サイエンスの
進歩

AI
(人工知能)

疾患予防

医療と医薬品のパラダイムシフト

【従来】

- ▶ 単独因子疾患
- ▶ 治療
- ▶ 医療とヘルスケアの分断
- ▶ 仮説検証

【新】

- ▶ 多因子疾患
- ▶ 完治・予防の実現
- ▶ シームレス
- ▶ IoT技術の発展による網羅的解析

選択、組合せ

【従来型医薬品】

- ▶ 動植物・鉱物などの資源
- ▶ 自然由来薬物
- ▶ 低分子物質薬物

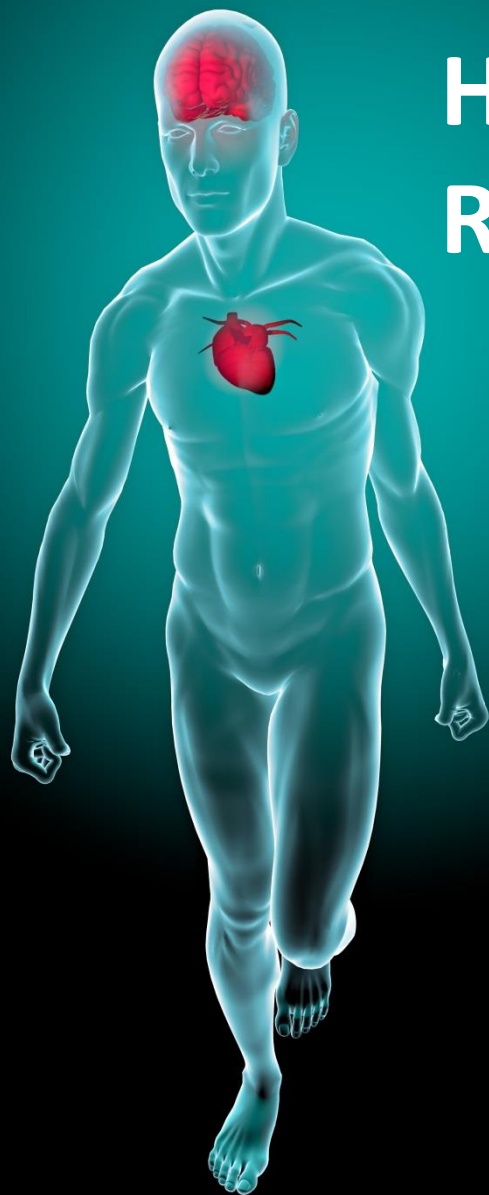
+

【新技術】

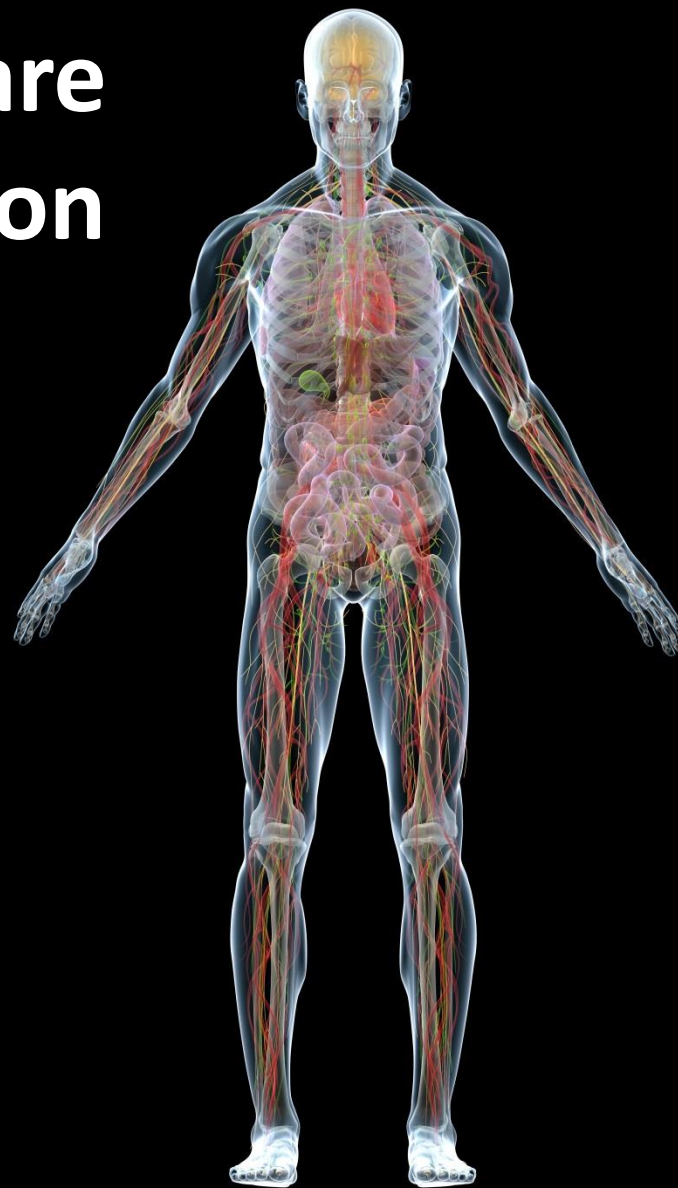
- ▶ バイオ製剤
- ▶ 細胞活性化薬
- ▶ 遺伝子組換え薬
- ▶ 細胞製剤
- ▶ 再生医療

複雑系時代に突入

医療における常識が変わる (システム間ネットワーク)



Healthcare Revolution





Project Phoenix 3.0

2018年4月より開始予定

“Healthcare Revolution”へ向けて





未来に挑戦し続ける シミックグループ

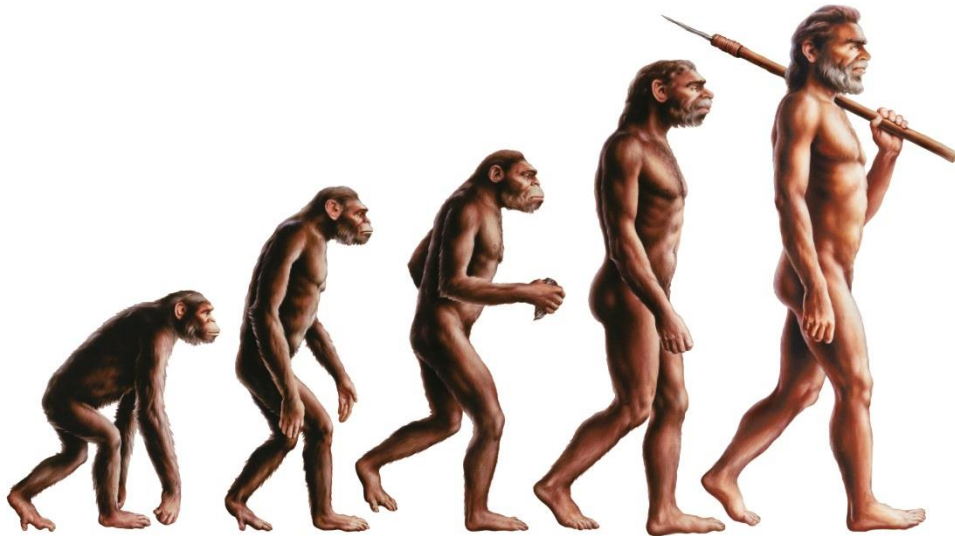
W&3C

シミックカルチャー「wellbeing」と
それを実現するための3C

変えていく。変わらない志を胸に。

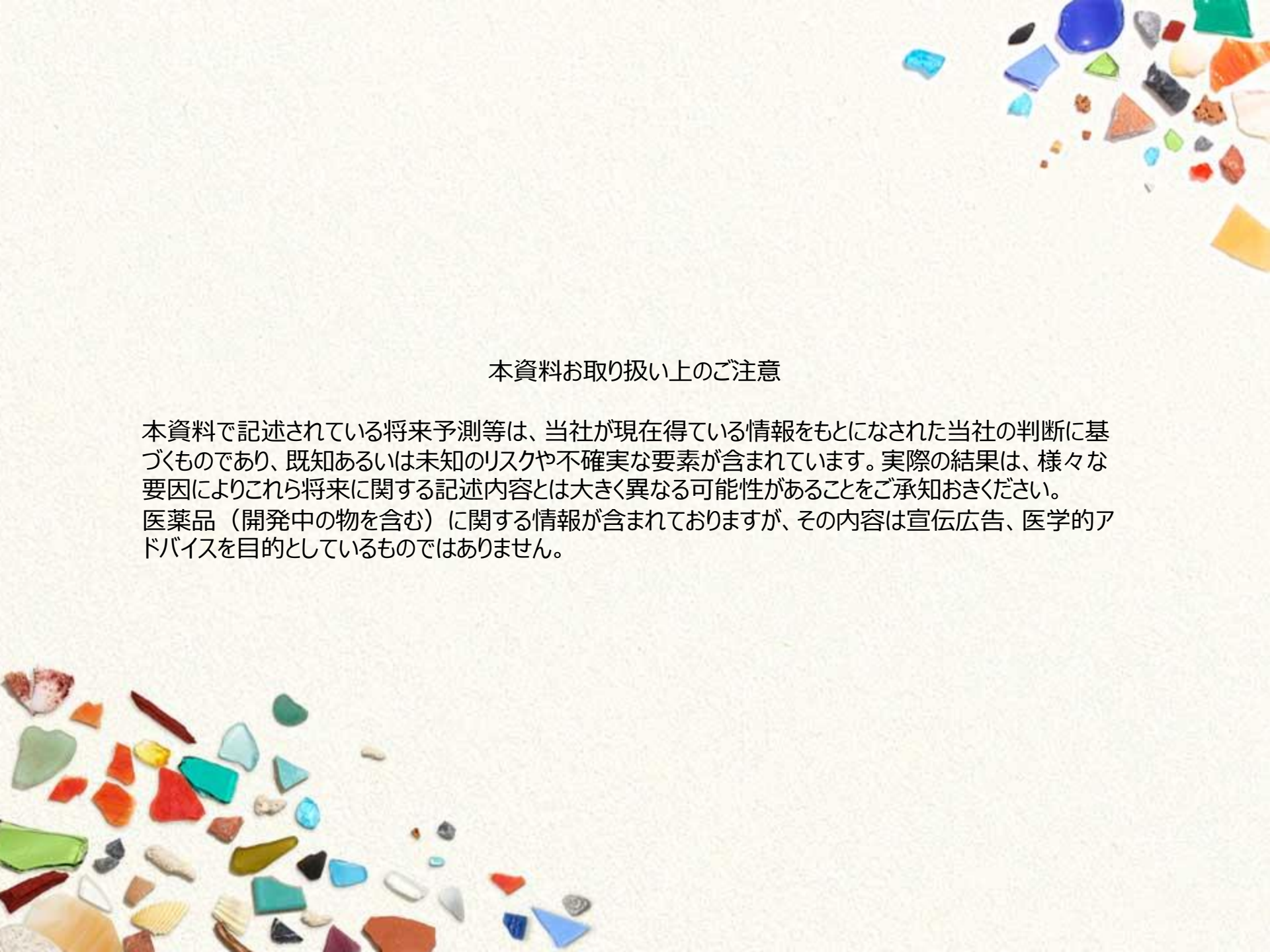


**この世に生き残る生き物は最も力の強いものか。
そうではない。
最も頭のいいものか。
そうでもない。
それは、変化に対応できる生き物だ。**



**チャールズ・ロバート・ダーウィン
1809年～1882年**

G H I K L



本資料お取り扱い上のご注意

本資料で記述されている将来予測等は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素が含まれています。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。医薬品（開発中の物を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。